



公立置賜総合病院

平成29年4月
第 49 号

医療連携だより

公立置賜総合病院医療連携・相談室 ☎0238-46-5000 内線 1902, 1409

特集：新年度あいさつ

副院長(兼)
医療連携部長
山田 昌弘 ……1

医療連携・相談室
担当医師 & スタッフ
紹介 ……2~3

最新デジタル乳房 X
線撮影装置のご紹介
……4

「病院の新たなスタートにむけて」

副院長(兼)医療連携部長 山田 昌弘

医療連携につきましては、日頃よりご協力いただき、誠にありがとうございます。今年度もよろしくお願い申し上げます。

さて、置賜病院も今年度から「置賜広域病院企業団」となって生まれ変わり、新たに企業長をトップとして迎える事となりました。いわゆる地方公営企業法における「全部適用（全適）」に伴う変化となります。尚一層の経営努力が求められる事となり、職員一同気を引き締めてあたらなければと考えているところです。

医療連携・相談室においては新年度から退院支援をより強化する事となり、各階に退院支援担当者を配置して、よりスムーズな退院に向けて病棟との連携を深めてまいります。院外との連携も当然必要となってまいりますので、ご相談ご依頼の際はよろしくお願いいたします。5月より実働開始を予定しております。また、要介護認定者におけるケアマネとの情報連携（置賜地域入退院調整ルール）も稼働しますので、OKI-net、おきカンファ等もご利用いただき、情報連携を深めていただければと考えております。



置賜広域病院企業団

公立置賜総合病院

心かよう信頼と安心の病院



地域においては少子高齢化に伴う医療と介護の需要から、地域医療構想や病棟再編などが検討され、将来に向けて変化の兆しが見え始めておりますが、病院は「病気を治す」という基本的なミッションを見失う事なく、この荒波を乗り越えてまいりますので見守っていただければと思います。

最後に明るい話題を一つ。病院周辺は十数年来全く変わりがなかったのですが、道路網の整備に伴い、川西町において「メディカルタウン構想」が打ち出され、ようやく町としての再開発が進みそうです。スーパーやビジネスホテルがようやく出来るかもしれません。「絵に描いた餅」とならないよう期待しているところです。

各医療機関や地域関係施設の皆さまにはたいへんお世話になっております。

平成29年度、医療連携・相談室が新体制でスタートしました。

山田医療連携部長はじめ、医師 6 名の副部長が担当となります。

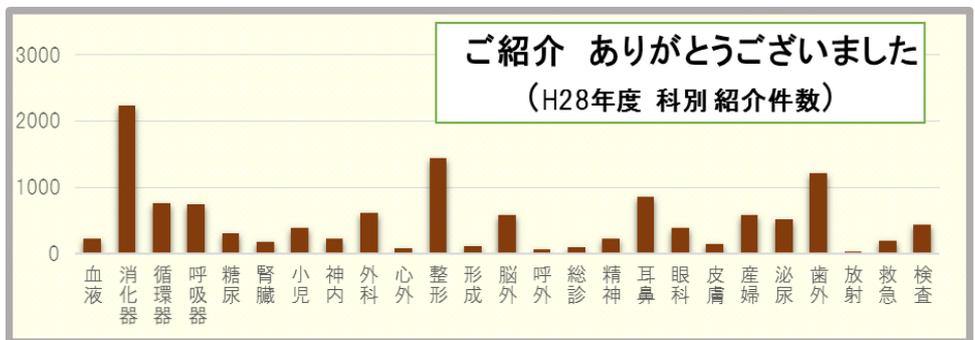
また医療連携・相談室は、看護師、社会福祉士、精神保健福祉士、事務職等、多職種で運営、協働しております。

今年度は特におきカンファを含め、退院支援、医療と介護の連携充実を図ってまいりますので、どうぞよろしく願いたします。

< 医師紹介 >

山田昌弘 (やまだ まさひろ)

副院長(兼)診療部長(兼)医療情報部長(兼)医療連携部長(兼)
医療連携・相談室長(兼)診療情報管理室長(兼)呼吸器外科統括科長



高橋 潤
(たかはし じゅん)

医療連携部副部長
教育研修部副部長
診療部長(総合診療系)
総合診療科科長



渡辺 晋一郎
(わたなべ しんいちろう)

医療連携部副部長
(兼)診療部長(内科系一)
(兼)内視鏡部長
(兼)教育研修部副部長
(兼)内視鏡室長
(兼)消化器内科科長



大楽 勝之
(だいらく かつゆき)

医療連携部副部長
(兼)診療部長(外科系六)
(兼)整形外科統括科長



鈴木 春芳
(すずき はるよし)

医療連携部副部長
(兼)精神科医長



久下 淳史
(くげ あつし)

医療連携部副部長
(兼)救命救急センター
一救急科科長



槻木 真明
(つきぎ まさあき)

医療連携部副部長
(兼)泌尿器科科長

<スタッフ紹介>

… 新メンバー



医療連携・相談室長
(兼) 医療連携副部長 (看護)
たかいし じゅんこ
高石 純子



医事情報課長 (兼)
医療連携・相談主幹
ふせ としみち
布施 敏道



医療連携・相談室
看護師長
うちやま ようこ
内山 洋子



医療連携・相談
主幹補佐
わたなべ けんいちろう
渡部 健一郎



医療連携・相談主査
副看護師長
【緩和ケア認定看護師】
いとう ひろみ
伊藤 裕美



医療連携・相談室
副看護師長
たかはし みちこ
高橋 美智子



医療連携・相談室
主査 (看護師)
かねこ みちよ
金子 美智代



主査 (社会福祉士・
精神保健福祉士)
はせべ ゆたか
長谷部 泰



主事 (精神保健福祉士)
おおつ なつき
大津 菜月



退院支援相談員
(看護師)
なす やすこ
那須 康子



社会福祉士
さいの あつこ
齋野 敦子



社会福祉士
すかい ひろこ
須貝 広子



医療連携・相談室
主査 (看護師)
かみお みきこ
神尾 美樹子



社会福祉士
いのうえ えり
井上 笑里



事務補助員
せいのはるみ
情野 はるみ



予約センタースタッフ

公立置賜総合病院

〒992-0601
山形県東置賜郡川西町
大字西大塚 2000 番地

TEL:
0238-46-5000

予約センターTEL:
0238-46-5700

FAX:
0238-46-5722

E-MAIL:
renkei@okitama-hp.or.jp

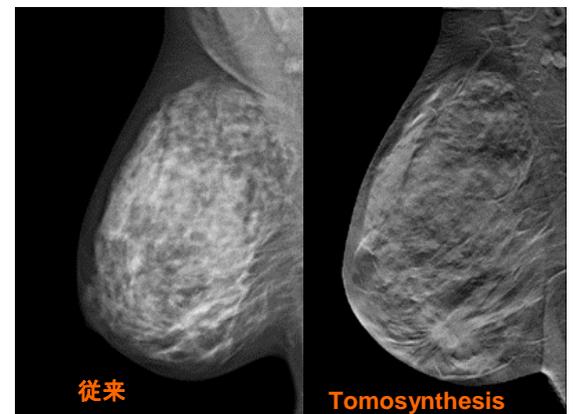
病院理念
心かよう信頼と安心の病院

置賜広域病院企業団
公立置賜総合病院

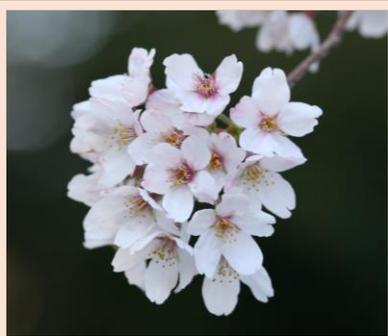
最新デジタル乳房 X 線撮影装置を導入！

当院では、女性の立場に立ち、最小の被ばくで快適な検査を実現した世界最高水準の乳房 X 線撮影装置を導入しました。

- ✦ 従来、視診と触診が頼りであった乳がん検査ですが、マンモグラフィ(乳房 X 線撮影)を加えることで、ごく小さなガンも早期に発見でき、乳房温存が可能となってきています。当院では、専門医による視触診の他、このマンモグラフィを使用した画像診断を乳がん検査に取り入れています。
- ✦ 乳房 X 線撮影は、乳房を圧迫して平らに行います。この圧迫は、痛みを伴う場合もありますが、ガンの早期発見(数ミリというとても小さな病変)の為には、とても重要なことです。当院のマンモグラフィは、個々の乳房にあわせて最適な圧迫圧力を細かく設定できる「最適圧迫機能」を有しており圧迫時の痛みを最小限に抑えながら、高画質で病変を描出します。
- ✦ 当院は、デジタルプレストモシンセスを搭載した装置を導入しております。Tomography(断層)と Synthesis(統一、合成)という意味を組み合わせた新しい撮影技術です。日本人女性の乳房には高濃度乳腺が多く、従来の 2D 画像では乳腺に隠れて見えなかった病変が、薄くスライスすることにより、確認できるようになりました。また、腫瘍の辺縁やスピキュラなど病変部位の確認も容易になりました。



検査のご希望がある場合は、かかりつけの先生からのご紹介、または外科外来受診後の予約となります。



あとかき

新年度、医師・研修医 24 名、看護師 34 名、コメディカル 5 名、事務部 5 名の入職となりました。4 月は、どの部署も指導教育を行い、安全と信頼を損なうことのないよう努めてまいります。

「よりよい医療連携をめざして」の冊子も、新たな診療体制と共に更新作業中です。あらためて登録医の先生方へお送りさせていただきます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。